

水産業強化支援事業事後評価報告書

		静岡県
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	29-31
事業実施主体	清水漁業協同組合	
実施地区名	清水・用宗地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成29年度～30年度	令和2年度
交付金額	105, 112, 000円	
事業計画の内容	荷さばき施設(地方卸売市場)の新設	
評価	成果目標	漁労所得の向上
	現状値	漁労所得 10, 341千円 (令和2年度末時点)
	目標値	漁労所得 15, 312千円 (令和2年度末)
	(1) 現状値の説明	販売事業の水揚げ管理システム及び購買事業による燃油売上高、用宗地区は製水事業による水販売高をもとに、漁労所得を算出した。成果目標の達成状況は、計画策定時の目標値である漁労所得15, 312千円に対し目標年度における漁労所得は10, 341千円となった。衛生管理型荷さばき施設の整備、漁獲物の集約等により魚価は向上しているが、ここ数年の黒潮大蛇行等の影響を受け、しらすの漁獲量は、計画策定時の6割程度と大きく減少しており、漁労所得も同様に減少している。
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	衛生管理型荷さばき施設の整備により、仲買人とバイヤーとの現場商談が行われるようになり、しらすの販売拡大に寄与したのではないかと考えられる。
	(3) 所見	施設整備により漁獲物の直置き解消、車輛の侵入等がなくなり、衛生管理が実施され、安心安全な漁獲物が、提供されている。水揚げ作業等も簡素化され、フォークリフト、パッドリフト等の使用により、人的作業が減少され、施設整備の効果は現れていると考えられる。
(4) 評価機関の意見等	該当なし	
今後の改善方向等に関する分析	引き続き、衛生管理の徹底による安心安全な水産物の供給、清水地区の漁業者の用宗魚市場への出荷の促進やバイヤー等へ用宗しらすをアピールすることによる競争力の強化によって、豊漁・不漁に問わず魚価の高値安定を維持するとともに、水揚げ時間の短縮による水揚げ量の確保を図り、漁労所得向上に努める。	